



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社くふうカンパニー 上場取引所 東
コード番号 4376 URL <https://kufu.company/>
代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 穂田 誉輝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役 (氏名) 菅間 淳 TEL 03-6264-2323
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	6,891	△25.5	△164	—	△234	—	△401	—
2023年9月期第2四半期	9,246	1.3	585	△24.3	489	△31.9	90	△62.7

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 △450百万円 (—%) 2023年9月期第2四半期 150百万円 (—%)
EBITDA 2024年9月期第2四半期 354百万円 (△67.9%) 2023年9月期第2四半期 1,104百万円 (△14.0%)
「EBITDA」は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算出したものであります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	△6.78	—
2023年9月期第2四半期	1.57	1.57

(注) 2024年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	18,494	10,245	53.9
2023年9月期	20,973	11,596	48.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 9,966百万円 2023年9月期 10,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	16,000	△21.9	700	△62.8	1,800	△38.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ゴールドエッグス、除外 1社 （社名）株式会社K-コンサルティング

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	64,177,595株	2023年9月期	58,301,719株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	2,579,961株	2023年9月期	292,268株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	59,235,556株	2023年9月期2Q	57,295,052株

(注) 当社の一部の連結子会社は、株式給付信託型ESOPを導入しており、株式給付ESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは“「くふう」で暮らしにひらめきを”を経営理念とし、「毎日の暮らし」及び「ライフイベント」において、生活者であるユーザーにとっての利便性や豊かさを最優先に考え、情報格差の解消や利便性の高いサービスづくりに取り組むとともに、ユーザーの主体的な意思決定や行動に繋がる価値提供を目指しております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は6,891百万円（前年同四半期比25.5%減）、営業損失は164百万円（前年同四半期は営業利益585百万円）、経常損失は234百万円（前年同四半期は経常利益489百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は401百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益90百万円）となりました。

報告セグメント別の経営成績の概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間及び当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第2四半期連結累計期間の分析は変更後の区分に基づいております。

<毎日の暮らし事業>

当事業は主に、株式会社ロゴガイドによるチラシ・買い物情報サービス「トクバイ」、株式会社くふうAIスタジオによるオンライン家計簿サービス「Zaim」等の事業で構成されております。

当第2四半期連結累計期間において、「トクバイ」導入店舗の開拓においては、有料掲載店舗数が減少し、ユーザー数は伸び悩みましたが、主要3業態（スーパーマーケット・ドラッグストア・ホームセンター）における情報の網羅性は向上し、サービス登録店舗数は増加しました。また、ユーザーの購買行動等の具体的な生活行動に繋がる価値提供を目指し、「メディア」重視から「毎日の暮らしに役立つツール」重視へ戦略を転換したことに伴い、暮らしに関する総合情報メディア「くふうLive!」を事業譲渡いたしました。また、当第2四半期連結会計期間より報告セグメントを見直し、株式会社キッズスター及び株式会社くふうしずおかの事業は、計上セグメントを毎日の暮らし事業から投資・インキュベーション事業へ変更いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における毎日の暮らし事業の売上高は1,537百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益は346百万円（前年同四半期比30.9%減）となりました。

<ライフイベント事業>

当事業は主に、ハイアス・アンド・カンパニー株式会社による各種コンサルティング事業及び自社施工事業、株式会社くふう住まいによる住宅・不動産専門メディア及び相談サービス、事業者向けSaaSツール、買取再販・仲介サービス等の住まい領域の事業、並びに株式会社くふうウエディングによるウエディング総合情報メディア、結婚式プロデュースサービス等の結婚領域の事業で構成されております。

当第2四半期連結累計期間において、住まい領域は、ハイアス・アンド・カンパニー株式会社が提供する各種コンサルティング事業及び自社施工事業については、厳しい市況の中、商材やウェブ集客支援の強化など会員工務店の施行受注支援に注力したものの、住宅施工数の伸び悩みや納期遅延などにより減収となりました。株式会社くふう住まいが提供する不動産会社向け営業支援SaaSツールは堅調に販売が推移しました。また、相談サービスのイエタテ事業は成約数の増加が収益に貢献し、新店舗も順調に立ち上がり、相談件数が増加しました。結婚領域は、メディア事業は収益力強化に向けて商材拡充を推進し、結婚式プロデュース事業は施行や受注が増加傾向となり、通期での黒字化に向けて概ね計画通り進捗いたしました。なお、当第2四半期連結会計期間より報告セグメントを見直し、株式会社Seven Signatures International及び株式会社ゴールドエッグスの事業は、計上セグメントをライフイベント事業から投資・インキュベーション事業へ変更いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるライフイベント事業の売上高は4,471百万円（前年同四半期比18.6%減）、営業利益は88百万円（前年同四半期比63.4%減）となりました。

<投資・インキュベーション事業>

当事業は主に、当社や株式会社くふうキャピタルによる投資事業、株式会社Seven Signatures Internationalによる富裕層向けコンサルティングサービス、くふう少額短期保険株式会社による保険事業、株式会社キッズスターによる子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」、株式会社くふうしずおかによる地域情報メディア・サービス、株式会社RETRIPによる旅行・おでかけメディア事業、株式会社くふうジオデータによる位置情報事業、株式会社ゴールドエッグスによるスポーツ型のアミューズメントパーク施設「ニンジャ☆パーク」の運営等で構成されております。

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの企業価値を高める出資及びM&A等の検討を継続して進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における投資・インキュベーション事業の売上高は1,051百万円（前年同四半期比51.3%減）、営業損失は70百万円（前年同四半期は営業利益458百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は18,494百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,479百万円減少しました。これは主にその他流動資産が553百万円、のれんが254百万円増加した一方で、現金及び預金が3,651百万円減少したことによるものであります。

負債は8,249百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,127百万円減少しました。これは主に未払法人税等が307百万円、1年内返済予定の長期借入金が257百万円、長期借入金が433百万円減少したことによるものであります。

純資産は10,245百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,351百万円減少しました。これは主に資本剰余金が985百万円増加した一方で、自己株式が710百万円増加（純資産は減少）、利益剰余金が401百万円、非支配株主持分が1,242百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想については、開示を見合わせておりましたが、現時点において入手可能な情報に基づき算定いたしました。詳細につきましては、本日（2024年5月15日）公表いたしました「通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,405	5,754
売掛金	1,129	1,037
商品	321	343
仕掛品	185	284
原材料及び貯蔵品	6	15
販売用不動産	1,232	1,257
営業投資有価証券	1,334	1,472
その他	525	1,078
貸倒引当金	△18	△35
流動資産合計	14,122	11,209
固定資産		
有形固定資産	669	729
無形固定資産		
のれん	3,591	3,845
その他	794	924
無形固定資産合計	4,386	4,770
投資その他の資産		
投資有価証券	627	599
繰延税金資産	614	585
その他	780	844
貸倒引当金	△226	△243
投資その他の資産合計	1,795	1,785
固定資産合計	6,851	7,285
資産合計	20,973	18,494

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	823	679
支払備金	4	2
責任準備金	5	5
短期借入金	2,272	2,049
1年内返済予定の長期借入金	997	739
未払法人税等	457	149
契約負債	1,259	1,255
賞与引当金	11	11
ポイント引当金	4	4
訂正関連費用引当金	45	45
事業整理損失引当金	—	33
その他	811	817
流動負債合計	6,693	5,795
固定負債		
長期借入金	2,079	1,646
資産除去債務	129	145
繰延税金負債	32	28
株式給付引当金	101	92
退職給付に係る負債	21	22
役員退職慰労引当金	41	41
その他	274	476
固定負債合計	2,682	2,453
負債合計	9,376	8,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	13	30
資本剰余金	8,452	9,437
利益剰余金	1,739	1,337
自己株式	△132	△843
株主資本合計	10,073	9,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13	△6
為替換算調整勘定	9	10
その他の包括利益累計額合計	△4	3
新株予約権	10	4
非支配株主持分	1,517	274
純資産合計	11,596	10,245
負債純資産合計	20,973	18,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,246	6,891
売上原価	4,707	3,145
売上総利益	4,538	3,746
販売費及び一般管理費	3,953	3,910
営業利益又は営業損失(△)	585	△164
営業外収益		
受取利息	1	0
為替差益	—	2
受取保険金	18	1
その他	10	16
営業外収益合計	29	20
営業外費用		
支払利息	23	20
支払手数料	40	18
貸倒引当金繰入額	9	20
為替差損	14	—
持分法による投資損失	19	27
その他	18	4
営業外費用合計	125	90
経常利益又は経常損失(△)	489	△234
特別利益		
事業譲渡益	—	55
子会社株式売却益	—	31
株式給付引当金戻入益	13	2
移転損失引当金戻入益	51	—
その他	3	2
特別利益合計	67	91
特別損失		
固定資産除却損	2	33
減損損失	9	25
事業整理損失引当金繰入額	3	33
事業整理損失	13	6
訴訟関連損失	4	6
その他	5	—
特別損失合計	39	105
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	517	△248
法人税、住民税及び事業税	220	153
法人税等調整額	141	56
法人税等合計	362	210
四半期純利益又は四半期純損失(△)	155	△458
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	65	△56
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	90	△401

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	155	△458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	6
為替換算調整勘定	△5	1
その他の包括利益合計	△4	7
四半期包括利益	150	△450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85	△394
非支配株主に係る四半期包括利益	65	△56

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	517	△248
減価償却費	186	196
減損損失	9	25
のれん償却額	332	330
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△35	29
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△43	33
移転損失引当金の増減額(△は減少)	△144	—
受取利息	△1	△0
支払利息	23	20
為替差損益(△は益)	2	△1
固定資産売却損益(△は益)	△0	1
事業譲渡損益(△は益)	—	△55
売上債権の増減額(△は増加)	61	87
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△17	△131
前払費用の増減額(△は増加)	△6	△344
棚卸資産の増減額(△は増加)	△230	△149
預け金の増減額(△は増加)	17	△252
販売用不動産の増減額(△は増加)	584	61
仕入債務の増減額(△は減少)	40	△157
未払金の増減額(△は減少)	118	△49
契約負債の増減額(△は減少)	154	△11
未収消費税等の増減額(△は増加)	60	△4
未払消費税等の増減額(△は減少)	△68	△89
その他	42	17
小計	1,604	△690
利息及び配当金の受取額	1	0
法人税等の支払額	△291	△454
利息の支払額	△22	△18
助成金の受取額	1	0
法人税等の還付額	6	69
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,300	△1,094
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△109	△41
有形固定資産の売却による収入	0	6
無形固定資産の取得による支出	△184	△297
事業譲受による支出	—	△31
事業譲渡による収入	—	69
敷金及び保証金の差入による支出	△226	△32
敷金及び保証金の回収による収入	151	14
資産除去債務の履行による支出	△38	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△413	△219
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による収入	109	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却による支出	—	△28
その他	11	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△700	△558

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	332	△325
長期借入れによる収入	50	26
長期借入金の返済による支出	△611	△817
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1	28
社債の償還による支出	△8	△8
自己株式の取得による支出	△0	△679
新株予約権の発行による収入	0	—
非支配株主からの払込みによる収入	0	10
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	△4	△321
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 売却による収入	—	94
その他	△7	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247	△1,994
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	346	△3,644
現金及び現金同等物の期首残高	7,238	9,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,584	5,724

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年1月25日付で、株式会社くふう住まいを割当先とする第三者割当による新株式の発行（現物出資）を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ861百万円増加いたしました。なお、同日付で資本金及び資本準備金の額の減少（減資）を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ861百万円減少し、その他資本剰余金が1,722百万円増加しております。

また、新株予約権の行使により、当第2四半期連結累計期間において資本金が16百万円、資本準備金が16百万円増加しております。

さらに、2023年11月14日及び2024年2月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,192,500株の取得等を行い、自己株式が710百万円増加いたしました。

加えて、当社連結子会社であるハイアス・アンド・カンパニー株式会社及び株式会社RETRIP等の株式を非支配株主から追加取得したこと等により、資本剰余金が753百万円減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が30百万円、資本剰余金が9,437百万円、自己株式が843百万円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。